

## 令和5年度における未来都市創造に関する特別委員会の運営について（案）

### 1. 委員会の目的

神戸が将来にわたり魅力あふれる都市として輝き発展していけるよう、人口減少社会も見据えた新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な事項について調査する。

### 2. 令和5年度の運営方針・調査テーマ案

- (1) 全国的な人口減少トレンドの中で、DX・働き方改革の進展等も踏まえながら、「定住人口の増加」「人口減少対策」につながる魅力ある神戸のまちづくりや、未来志向の都市政策のあり方を基本テーマとし、関連事項と合わせて調査・議論する。
- (2) 委員会は、参考人からの意見聴取及び委員間討議を中心に行い、必要に応じて実地調査を行う。
- (3) 委員会での調査活動を踏まえて具体的な提言を行う。

#### [スケジュール案]

令和5年8月～6年1月頃	参考人からの意見聴取及び委員間討議
令和6年2月～3月頃	提言書案に関する委員間討議など
令和6年3～4月頃	提言書提出
令和6年4月頃	市民報告会開催

### 3. 基本的な運営方法

- (1) 常任委員会との役割分担にも留意しながら、調査・議論を深めることとする。
- (2) 必要に応じて調査テーマ等に関連する施策・事業の進捗状況等について所管局の報告を求める。
- (3) 必要に応じて所管局の局部課長の出席を求める。なお、調査テーマによっては、関係する外郭団体に派遣している現職局部課長の出席を求める。
- (4) 定席表は、理事と委員を分けずに大会派順とする。
- (5) 委員でない議員が委員会で発言しようとするときは、委員会開会までに、別紙「委員外議員発言申出書」により委員長に申し出る。発言の許否は、委員長が委員会に諮って決定する。発言が許された場合の委員外議員の発言は、委員の発言が全部終了した後に行い、委員間討議においても同様とする。

令和 年 月 日

委員外議員発言申出書

委員会

委員長 様

市会議員 ⑩

月 日の 委員会に出席して、下記事項について発言いたしたいので、許可されるよう、会議規則第52条第2項の規定により申し出ます。

記

発言内容

## 1 令和4年度の活動状況

令和3年度の提言で取り上げた「神戸ならではの歴史や地形を活かしたまちづくり」をさらに掘り下げ、「歴史的資源を活かしたまちづくり」について幅広い観点から調査・議論を行った。参考人からの意見聴取や先進事例の実地調査、委員間討議等を踏まえて、提言書「歴史的資源を活かしたまちづくり」をとりまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

### <審査実績>

- ・4年11月17日：「歴史的資源を活かしたまちづくり」について意見聴取  
(参考人：園田学園女子大学名誉教授 田辺真人氏)
- ・4年12月19日：提言についての委員間討議
- ・5年1月16日：提言についての委員間討議
- ・5年1月31日：提言書案についての委員間討議

### <実地視察>

- ・4年8月19日：市内の歴史的資源である下谷上農村歌舞伎舞台、西国街道、湊川神社、花隈城跡を実地視察  
(講師：園田学園女子大学名誉教授 田辺真人氏)

### <行政調査>

4年12月12～13日

- ・広島電鉄(株) (広島版 MaaS「MOBIRY (モビリー)」等について)
- ・まちなか西国街道推進協議会 (西国街道の歴史と文化を活かした新たな賑わいづくりについて)
- ・(株)NOTE (地域に眠る歴史資源を活かしたまちづくりについて)

### <提言書>

5年2月8日に提言書「歴史的資源を活かしたまちづくり」を市長に提出

### <市民報告会>

5年3月24日に本会議場で市民報告会を開催 (市民29名が参加)

内容：委員会活動報告 (提言書「歴史的資源を活かしたまちづくり」の内容等)

## 2 令和3年度の活動状況

新型コロナウイルス感染症を契機に、新たなライフスタイルが生まれ、多様なサービスが活用される中で、「災害に強く、様々な危機にしなやかに対応できる回復力・復元力 (レジリエンス) の高いまちづくり」や「神戸ならではの歴史や地形を活かしたまちづくり」をテーマに、幅広い観点から調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議等を踏まえて、提言書「様々な危機にしなやかに対応できる神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

### <審査実績>

- ・3年9月29日：「パフォーマンスティブな公共」について意見聴取  
(参考人：建築設計集団 ALTEMY代表・建築家 津川恵理氏)
- ・3年10月29日：「都心・三宮再整備について」報告聴取
- ・3年11月26日：「西日本鉄道のMaaSに関する取り組み」についてオンラインで意見聴取  
(参考人：西日本鉄道株式会社自動車事業本部未来モビリティ部モビリティサービス担当課長 日高悟氏)

- ・ 3 年 12 月 13 日：「歴史や地形を活かした神戸の街づくりー神戸駅前広場などー」について意見聴取  
(参考人：園田学園女子大学名誉教授 田辺真人氏)
- ・ 4 年 1 月 31 日：「三宮クロススクエアの交通課題」についてオンラインで意見聴取  
(参考人：東京工業大学環境・社会理工学院教授 朝倉康夫氏)
- ・ 4 年 2 月 16 日：提言テーマについての委員間討議
- ・ 4 年 3 月 30 日：提言内容についての委員間討議
- ・ 4 年 4 月 14 日：提言素案についての委員間討議
- ・ 4 年 4 月 27 日：提言書案についての委員間討議

#### <提言書>

4 年 5 月 13 日に提言書「様々な危機にしなやかに対応できる神戸のまちづくり」を市長に提出

#### <市民報告会>

4 年 5 月 27 日に本会議場で市民報告会を開催（市民 28 名が参加）

内容：委員会活動報告（提言書「様々な危機にしなやかに対応できる神戸のまちづくり」の内容等）

### 3 令和 2 年度の活動状況

提言書「2050 年を見据えた神戸のまちづくり」での指摘を踏まえ、新型コロナウイルスがもたらす「ニューノーマル（新常態）」に対応したまちづくりに向けて、三宮再整備やこれに関連する事業のコンセプトが従来通りでよいのか、今後の神戸全体のまちづくりのあり方にもどのような変化が起こるのか、感染症に強いまちづくりはどうあるべきかなどについて、幅広い観点から調査・議論を行い様々な課題を調査した。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議等を踏まえて、提言書「ポストコロナ時代に適合した持続可能な神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出した。

#### <審査実績>

- ・ 2 年 11 月 9 日：①「新しい三宮に推奨される新しいコンセプト～感染症対策の視点から～」について意見聴取  
(参考人：WHO 健康開発総合研究センター医官 茅野龍馬氏)
- ②都心・ウォーターフロントにおける新たな公共交通システムの導入（連節バスの本格運行）、三宮駅周辺歩行者デッキ設計競技（コンペ）の実施、及び JR 三ノ宮駅ビルについて報告聴取
- ・ 2 年 12 月 9 日：「Smart City による自立分散社会の実現へ 市民・地域主導によるデジタルイノベーション」についてオンラインで意見聴取  
(参考人：アクセンチュア・イノベーションセンター福島センター共同統括 中村彰二郎氏)
- ・ 3 年 1 月 13 日：「神戸をもう一度つくる」についてオンラインで意見聴取  
(参考人：東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授 羽藤英二氏)
- ・ 3 年 1 月 22 日：<研修会> 「New Normal 時代（アフターコロナ）の新しい都市計画の展望」についてオンラインで意見聴取  
(参考人：早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授 森本章倫氏)
- ・ 3 年 2 月 17 日：提言についての委員間討議

- ・ 3 年 3 月 30 日：提言についての委員間討議
- ・ 3 年 4 月 8 日：提言についての委員間討議
- ・ 3 年 4 月 22 日：提言案についての委員間討議

<提言書>

3 年 4 月 26 日に提言書「ポストコロナ時代に適合した持続可能な神戸のまちづくり」を市長に提出

#### 4 令和元年度の活動状況

三宮再整備事業の事業期間が概ね 30 年間で、段階的にまちの再整備を進めていく事業であることから、30 年後である 2050 年の神戸が生き生きとした魅力あふれるまちであるためにはどんな視点が必要なのか、様々な観点から調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議、他都市の先進事例の現地調査等を行い、これらの活動を踏まえて、提言書「2050 年を見据えた神戸のまちづくり」をとりまとめ、市長に提出した。

<審査実績>

- ・ 元年 8 月 22 日：「神戸市役所本庁舎 2 号館再整備基本計画（案）」及び「三宮クロススクエア」交通社会実験について報告聴取
- ・ 元年 10 月 25 日：「フューチャー・デザイン：持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：総合地球環境学研究所特任教授 西條辰義氏)
- ・ 元年 11 月 18 日：「新モビリティ社会と交通まちづくり」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：一般財団法人計量計画研究所理事 牧村和彦氏)
- ・ 元年 12 月 13 日：「Society5.0 に向けたICTの活用による地域課題の解決」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：西日本電信電話株式会社ビジネス営業本部クラウドソリューション部ビジネスイノベーション営業推進担当部長 井口法文氏、同社兵庫支店長 川副和宏氏)
- ・ 2 年 2 月 17 日：①都心・三宮再整備の進捗状況について報告聴取  
②提言についての委員間討議
- ・ 2 年 3 月 17 日：提言についての委員間討議
- ・ 2 年 6 月 11 日：提言についての委員間討議

<行政調査>

2 年 1 月 30～31 日

- ・ 名古屋大学（新たなモビリティサービスと移動手段の多様化について）
- ・ 川崎市（駅前のまちづくりとミュージアム川崎シンフォニーホールの運営）

<提言書>

2 年 6 月 17 日に提言書「2050 年を見据えた神戸のまちづくり」を市長に提出

#### 5 平成 30 年度の活動状況

三宮再整備事業の進捗に伴い、新たな課題が浮かび上がってきたことから、あらためて議会の立場から提言を行うことを目指し、都心・三宮周辺地区を中心に調査・議論を行った。関係局からの報告聴取に加え、参考人からの意見聴取や委員間討議、他都市の先進事例の実

地調査等を行い、これらの活動を踏まえて、全 19 項目の提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を取りまとめ、市長に提出した。

<審査実績>

- ・ 30 年 10 月 29 日：①「大都市ターミナル駅周辺のまちづくり」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：大阪市立大学大学院工学研究科教授 嘉名光市氏)
- ②都心・三宮再整備の進捗状況について報告聴取
- ・ 30 年 11 月 22 日：①「エリアマネジメントによる街づくり」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：三菱地所㈱開発推進部エリアマネジメント推進室長兼  
NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会事務局長 藤井宏章氏)
- ②提言についての委員間討議
- ・ 30 年 12 月 26 日：提言についての委員間討議
- ・ 31 年 1 月 21 日：提言書案について委員間討議

<行政調査>

30 年 12 月 17～18 日

- ・ 文京区（文京シビックホールについて）
- ・ 柏の葉アーバンデザインセンター（アーバンデザインセンターについて）
- ・ 大丸有エリアマネジメント協会（エリアマネジメントについて）

<提言書>

31 年 3 月 19 日に提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を市長に提出

## 6 平成 29 年度の活動状況

都心・三宮周辺地区の再整備において、特に多様な立場の視点に立ったまちづくりを基本コンセプトとして、集中的に審議し、参考人からの意見聴取や委員間討議、都心三宮推進本部からの報告聴取などを行った。また数十年後に必要となるインフラ等について、障がいの有無にかかわらず、すべての人々にとって移動しやすい多様な立場の視点に立ったまちづくりについて見識を深めるため、官民それぞれの先進事例について調査を行った。

<審査実績>

- ・ 29 年 11 月 21 日：「人と環境にやさしいまちづくり」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：徳島大学大学院教授 山中英生氏)
- ・ 29 年 12 月 18 日：「えき～まち空間」基本計画(案)、新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通 5・6 丁目再整備基本計画(案)について報告聴取
- ・ 30 年 4 月 27 日：「医療と福祉の一体化」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：理化学研究所生命機能科学研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー 高橋政代氏)
- ・ 30 年 6 月 5 日：新たな中・長距離バスターミナル整備の進捗状況、「えき～まち空間」実現に向けた交通の考え方について報告聴取

<行政調査>

30 年 2 月 1 日～2 月 2 日

- ・ 日産自動車㈱総合研究所（将来のモビリティ社会について）

- ・東京都（都市づくりのグランドデザイン及び東京 2020 大会に向けたバリアフリー化の推進について）

## 7 平成 28 年度の活動状況

これまでの委員会活動を踏まえたうえで、今後の神戸のまちづくりの方向性について、多角的な観点から理解を深めるため、参考人からの意見聴取及び委員間討議を行った。また、都心再生の取組状況について、関係局などから報告を聴取するとともに、公共交通や駅周辺整備に関する、民間企業や他都市における先進事例の調査を行った。

### <審査実績>

- ・28 年 8 月 8 日：都心・三宮の再整備、部会の状況等について報告聴取
- ・28 年 10 月 24 日：「若者に選ばれるまち」について意見聴取と委員間協議  
(参考人：(株)デジタル・ラボ 代表取締役 永吉一郎氏)
- ・28 年 11 月 15 日：①「まちづくりの光を考える－『光の都』神戸の実現に向けて」について意見聴取と委員間協議  
(参考人：(株)ライティングM代表取締役 森秀人氏)  
②都心・三宮の再整備に関するアクションプラン、「えき～まち空間」基本計画作成業務委託プロポーザルについて報告聴取
- ・28 年 11 月 22 日：「三宮中心市街地の再整備～未来への提言～」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：兵庫県土地家屋調査士会神戸支部長 樋口敦仁氏他)
- ・28 年 12 月 20 日：「人口減少時代のまちづくり」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：奈良女子大学生活環境学部教授 中山徹氏)
- ・29 年 1 月 26 日：①「未来に向けたスポーツ都市戦略」について意見聴取と委員間討議  
(参考人：早稲田大学スポーツ科学学術院教授 原田宗彦氏)  
②神戸三宮「えき～まち空間」基本計画について報告聴取
- ・29 年 6 月 5 日：部会の状況等、078 開催実績、都心・三宮の再整備に関するロゴマーク投票について報告聴取

### <行政調査>

29 年 1 月 30～31 日

- ・西日本鉄道(株)（天神高速バスターミナル、博多バスターミナルについて）
- ・広島市（広島駅周辺整備について）

## 8 平成 27 年度の活動状況

神戸の都心の未来の姿〔将来ビジョン〕・三宮周辺地区の「再整備基本構想」の策定に関し報告聴取を行うとともに、都心三宮推進本部会議及び各部会における議論の方向性や進捗について審査を行った。さらに、市街地西部地域について、集中的な審査を行った。行政調査では、首都圏における再開発事業を中心に、官民にわたって調査するとともに、空間デザインに関する講演を聴取した。

### <審査実績>

- ・27 年 6 月 29 日：将来ビジョン（案）・再整備基本構想（案）等について報告聴取
- ・27 年 8 月 24 日：将来ビジョン（案）・再整備基本構想（案）に対する意見募集結果について報告聴取
- ・27 年 9 月 10 日：将来ビジョン・再整備基本構想合同報告会の開催について報告聴取

- ・ 27 年 12 月 22 日：都心の再整備に向けた取り組み及び市街地西部地域の活性化について  
報告聴取
- ・ 28 年 5 月 30 日：都心三宮推進本部、部会の状況等について報告聴取

<行政調査>

28 年 2 月 1～3 日

- ・ JTQ Inc. 谷川じゅんじ氏（空間デザインについて）
- ・ 東日本旅客鉄道㈱（丸の内駅前広場の整備について）
- ・ 森ビル㈱（森ビルの街づくりの考え方について）
- ・ 川崎市（武蔵小杉駅周辺のまちづくりについて）
- ・ 渋谷区・東急電鉄㈱（渋谷駅周辺の再開発について）

## 9 平成 26 年度の活動状況

「神戸の魅力」「都心の魅力」「若者の集う街」「産業振興」という 4 つのテーマを設定し、参考人からの意見聴取や委員間討議を行うとともに、交通事業者（JR 西日本・阪急電鉄）からの説明聴取や、渋谷駅中心地区再開発についての説明聴取及び実地視察を行った。これらの調査活動を踏まえ、全 18 項目からなる「神戸の未来都市創造に向けた提言書」をまとめ、市長に提出するとともに、市民報告会を開催した。

<審査実績>

- ・ 26 年 7 月 10 日：「神戸の魅力」について意見聴取と委員間討議  
（参考人：神戸芸術工科大学学長 齊木崇人氏）
- ・ 26 年 8 月 7 日：将来ビジョン・再整備基本構想について報告聴取
- ・ 26 年 9 月 4 日：「都心の魅力」について意見聴取と委員間討議  
（参考人：神戸フィルムオフィス代表 田中まこ氏）
- ・ 26 年 11 月 6 日：「若者の集う街」について意見聴取と委員間討議  
（参考人：神戸電子専門学校校長 福岡壯治氏）
- ・ 26 年 12 月 8 日：「産業振興」について意見聴取と委員間討議  
（参考人：神戸ファッションコンテスト審査委員長 齋藤統氏）
- ・ 27 年 1 月 27 日及び 2 月 9 日：提言書に関する委員間討議

<実地調査>

- ・ 26 年 7 月 18 日：西日本旅客鉄道㈱（駅ビル建替計画等）
- ・ 26 年 7 月 23 日：阪急電鉄㈱（駅ビル建替計画、市営地下鉄との相互乗入れ等）
- ・ 26 年 9 月 8～9 日：㈱日本設計（三宮周辺の再整備）、渋谷区等（渋谷駅中心地区再開発）

<提言書>

27 年 3 月 24 日に「神戸の未来都市創造に向けた提言書」を市長に提出

<市民報告会>

27 年 5 月 11 日に本会議場で市民報告会を開催（市民 190 名が参加）

内容：第 1 部 委員会活動報告（「神戸の未来都市創造に向けた提言書」の内容等）  
第 2 部 パネルディスカッション（委員会が招致した参考人 4 名による）